

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年10月11日(2018.10.11)

【公開番号】特開2017-86709(P2017-86709A)

【公開日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2017-019

【出願番号】特願2015-223489(P2015-223489)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月31日(2018.8.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技の進行に応じて演出を行うとともに、操作部の操作阻害状態を制御する演出制御手段を備え、

前記演出制御手段は、

前記操作部の操作阻害状態を解除状態にするとともに、前記操作部の押圧操作を促し、前記操作部が押圧操作されると遊技利益の取得有無を報知する第1報知と、

前記操作部の押圧操作を促すことなく前記操作部の操作阻害状態を解除状態にする第2報知と、

を行う場合があることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技の進行に応じて演出を行う演出制御手段を備え、

前記演出制御手段は、

操作部の押圧操作を促し、前記操作部が押圧操作されると遊技利益の取得有無を報知する第1報知と、

前記操作部の押圧操作を促すことなく、前記操作部の押圧操作に応じて遊技利益の取得有無を報知する第2報知と、

を行う場合があることを特徴とする遊技機。

【請求項3】

前記第2報知が行われることなく前記第1報知が行われた場合より、前記第2報知が行われた場合の方が、前記遊技利益が取得された確率が高くなることを特徴とする請求項1または2に記載の遊技機。

【請求項4】

遊技の進行に応じて演出を行う演出制御手段を備え、

前記演出制御手段は、

操作部の押圧操作を促すことなく、前記操作部の押圧操作に応じて、所定の状態に設定されていることを報知する報知演出を実行可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するために、本発明の遊技機は、遊技の進行に応じて演出を行うとともに、操作部の操作阻害状態を制御する演出制御手段を備え、前記演出制御手段は、前記操作部の操作阻害状態を解除状態にするとともに、前記操作部の押圧操作を促し、前記操作部が押圧操作されると遊技利益の取得有無を報知する第1報知と、前記操作部の押圧操作を促すことなく前記操作部の操作阻害状態を解除状態にする第2報知と、を行う場合があることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記課題を解決するために、本発明の他の遊技機は、遊技の進行に応じて演出を行う演出制御手段を備え、前記演出制御手段は、操作部の押圧操作を促し、前記操作部が押圧操作されると遊技利益の取得有無を報知する第1報知と、前記操作部の押圧操作を促すことなく、前記操作部の押圧操作に応じて遊技利益の取得有無を報知する第2報知と、を行う場合があることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

前記第2報知が行われることなく前記第1報知が行われた場合より、前記第2報知が行われた場合の方が、前記遊技利益が取得された確率が高くなつてもよい。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記課題を解決するために、本発明の他の遊技機は、遊技の進行に応じて演出を行う演出制御手段を備え、前記演出制御手段は、操作部の押圧操作を促すことなく、前記操作部の押圧操作に応じて、所定の状態に設定されていることを報知する報知演出を実行可能であることを特徴とする。